

ふなで



2026年7月23日発行 令和8年度 第4号

【email】ajssnz@gmail.com 【web】<http://www.ajss.ac.nz>

世界を舞台に輝く姿から学ぶこと

校長 加納直樹

World Cup 2026 北中米大会はスペインの優勝で幕を閉じました。世界中の選手たちが国の誇りを胸に、一戦一戦に全力で挑み、その技術やスピードに驚いたことはもちろん、最後まであきらめずに走り続ける姿や、仲間を信じて力を合わせる姿勢、試合後に互いの健闘をたたえ合う様子に感動しました。(決勝戦後はかなりもめていましたが…笑)

今回の大会は、日本と共にニュージーランドも出場していたので、応援にも力が入りました。ニュージーランドは健闘しましたが、残念ながら予選で敗退しました。日本は決勝トーナメント一回戦で惜しくも敗れましたが、日本人らしい連携や組織の力が世界に通用することを改めて感じさせてくれるとともに、サッカー王国ブラジルを相手に臆することなく堂々と勝負する姿は素晴らしく、日本がW杯で決勝トーナメントを勝ち抜く日が来ることはそう遠くないかもしれないと感じました。

子供たちも、サッカーの技術だけではない何かを、この大会を通して学んでくれたらうれしいと思います。選手たちの華やかなプレーの裏側には、日々の地道な練習や、自分に厳しく向き合い続ける時間があるはずです。どんなスター選手でも仲間と協力する気持ちがなければうまくいかないようにも思います。「努力は決して無駄にならないこと」「一人ではなく、仲間と共に力を発揮することの大切さ」など…将来世界で活躍するために必要な何かを感じ取ってほしいと思いました。

オークランド日本語補習学校は、将来、世界で活躍することができるよう「自ら未来を切り拓く、心豊かでたくましい児童・生徒」の育成を目指しています。そのために児童・生徒一人一人に目標をもたせ、友達と協力しながら日々の学習や学校行事に取り組ませています。うまくいくことばかりではありませんが、日々の努力の積み重ねを大切にしながら失敗を恐れず挑戦し、その経験を次の成長につなげてほしい。また、自分のよさを大切にすることとともに仲間を大切に思いやりの心をもってほしいと繰り返し伝えていきます。

世界最高峰の舞台で繰り広げられた熱戦は、「挑戦する勇気」「仲間を信じ協力する心」「最後までやり抜く力」の尊さを改めて教えてくれました。本校でも子供たち一人一人が自分の可能性を信じ、互いを認め、協力しながら成長していけるよう、教職員一同力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。

保護者の皆様、二水会、日本人会の皆様におかれましても、引き続き本校教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年度（2026）第一回Sっ子集会

6月27日（土）、今年度一回目のSっ子集会が行われました。Sコースでは、年3回に分けて2学年ずつ学習発表会を行っています。この日のSっ子集会は、5、6年生の学習発表でした。5年生の「季節の行事」の学習発表では、祭りや祝い事に関して自分たちで調べてきたことを発表しました。次いで6年生の発表では、ソーラン節に関する内容を「〇×クイズ」方式にして全学年で楽しめるような工夫のある発表を行い、最後に5、6年生全員でソーラン節を披露しました。1か月半ほど練習を重ねてきたソーラン節。本番前の子供たちの顔には緊張が走ります。6年生の稲元澄遥さんの「かまえ！」の掛け声でその緊張がピークに達しました。



表を終えた子供たちの顔にも達成感がにじみ出ていたように感じました。次のSっ子集会は、8月29日（土）1、2年生の学習発表です。先輩たちに続いて、どんな発表を見せてくれるのか、楽しみです。（内山）

一週間前、リハーサルを見た校長先生は、「真剣にやることが大事。へらへらしめない、真剣な姿が感動をよぶんだ。」と子供たちに声をかけてくれました。その言葉を体現するかのように全員が真剣な表情で踊り、練習の成果を発揮できたと思います。踊りが完璧な子も、そうでない子も皆で真剣に踊りました。その姿がとても素晴らしいものに、見ていた人たちの目に映ったと思います。発



★ 星に願いを ★

日本の七夕の季節にあわせて、子供たちが願い事を短冊に書き、飾りつけをつくり、補習校入口に飾りました。子供たちの願いはそれぞれですが、みんなの願い事が叶いますように…。

貴重な竹を手配してくださいました馬場様、ありがとうございました。



【幼稚部】 セタとおもちつきを楽しんだ「補習校オープンデー」

6月27日は補習校オープンデーでした。補習校に興味をおもちいただいても普段はなかなかお越しになる機会がないご家庭に、朝から校内や授業の見学をしていただける日です。こういった折には「補習校に幼稚部があるのを知らなかった」というお声を耳にすることもいまだにありますが、実は幼稚部も、2009年に現在の校舎へ移転して以来の歴史を、補習校と共に歩んできています。

幼稚部では、毎週土曜日に4歳児と5歳児のクラスを開講しています。それぞれの成長段階に合わせた様々な製作や、季節行事の体験といった保育を通じて、日本語でのコミュニケーション力や学習に取り組む姿勢など、就学前に培いたい素養を楽しく身につけていきます。



そんな幼稚部にとって、毎年七夕の時期に行われるこのオープンデーは、大変ありがたい行事です。毎年、補習校の保護者様や関係者の方が快く本物の笹をご準備くださり、さらに日本人会の皆様も、子供たちのために「おもちつき」を行ってくださるからです。

オークランドで幼児期を過ごす園児たちにとって、本物の笹の葉に短冊や折り紙を飾ったり、大勢の法被姿やエプロン姿の大人たちで活気あふれる、このいかにも日本らしい行事に触れたりする機会はなかなかありません。おもちつき体験の列に並ぶ園児たちは正直みんな、おっかなびっくり。実際に持つ「きね」の重さや、おもちをついた時の手に伝わってくる感触に、驚いたり目を輝かせたりと様々な反応を見せてくれました。そして、そんな園児たちを見守る周りの皆様のなんとも温かい眼差しに、自然と顔がほころびます。

園児たちは、おもちつき会場の皆様に元気よくお礼を言って保育室に戻り、見学のお子様と一緒に、つくたてのおもちをいただきました。「おいしい！」とあちこちから声があがります。「同じ釜の飯を食う」の言葉通り、おもちと一緒に食べてからの七夕製作では、見学のお子様もすっかり打ち解けた様子で参加してくれました。



普段は保育時間が違うぱんだ組（4歳児クラス）ときりん組（5歳児クラス）も、こういった行事の日には合同保育となります。補習校にやっと慣れてきた子もまだいるこの時期に、「自分もこのコミュニティの一員なんだ」と感じられたであろう、とても素敵な一日となりました。ご参加くださった皆様、そしてオープンデーのためにご尽力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。（邊）



オークランド日本人会の皆様 ありがとうございました

6月27日の土曜日は、補習校のオープンデーに合わせて、朝早くから日本人会の皆様がお餅つきの準備をしてくださいました。子供たちは日本でもなかなか体験することのできないお餅つきをさせていただき、つきたての美味しいお餅をおなか一杯食べることができて大満足でした。

やはりお餅つきは日本の伝統文化であり、日本人には特別な行事ですね。補習校の児童・生徒だけではなく、保護者も先生たちも、卒業生たちも、総領事ご夫妻も、そこにいるみんなが笑顔で、子供も大人も大いに盛り上がりました。

日本の伝統文化・スポーツ・教育の発信基地として、ここオークランド日本語補習学校は、オークランドで暮らす皆様が笑顔で集う場所でありたいと思っています。

オークランド日本人会の皆様、大変お世話になりました。今後とも変わらぬ温かいご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。(校長 加納直樹)



A9 クラスの柿沼泰佑くんのご家庭から一輪車を寄贈していただきました。

ありがとうございました。とてもきれいな状態で、まるで新品のようです。

みんなで仲良く、大事に使わせていただきます。



川崎 実沙です！



地元で小学校の先生を6年間していました。
体を動かすことが大好きです！
福岡県出身やけん、方言が出るかもしれんけど😊
たくさんお話ししましょう！

中欧4か国

オーストリア
ハンガリー
スロバキア
チェコ

トルコ

韓国

福岡県

タイ

カンボジア

バリ島

オーストラリア

パース
ウルル
シドニー
ブリスベン
ゴールドコースト
メルボルン

旅行が好きで、
これまで色々な国を訪れてきました。
一番心に残っているのは、
トルコ人旅です！🇹🇷
自分を成長させてくれる
出会いやチャレンジを大切
にしています！

8月の主な予定

6日（木）～	Aコース中学部・統一漢字テスト③
8日（土）	Sコース授業参観日①
11日（火）～	Aコース中学部・前期期末テスト期間開始
15日（土）	Sコース授業参観日②
15日（土）～9月19日（土）	Sコース保護者面談
29日（土）	Sっ子集会

9月の主な予定

17日（木）	しんちゃん読み聞かせ【中学部】（18時55分～）
19日（土）	教育講演会（11時～）
24日（木）	Bコース学習発表会
25日（金）	Aコース学習発表会
28日（月）～10月12日（月）	春休み